

報 告 書

2015年 10 月 29 日

望月厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務活動費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2015年10月22日（木）pm2：00 ～ pm4：00	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	第269回東海市議会議長会理事会研修会 可児市文化創造センターa l a 小劇場 虹のホール
	(2) 対 応 者	コーディネーター 昇 秀樹 名城大学教授 パネラー 江藤 俊昭 山梨学院大学教授 原田 政司 全国市議会議長会前事務総長 加納 康樹 四日市市議会議長（東海市議会議長会会長） 川上 文浩 可児市議会前議長（開催市議会）
3 目 的	テーマが、「地方議会の存在意義と今後の在り方」という直接関係する内容であり、今回は、一般議員の参加もできたので、今後のわが議会の在り方を検討するヒントを探りたいとの目的で参加した。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>大きなテーマ：地方議会の存在意義と今後のあり方</p> <p>(1) 地方議会の過去と現在そして未来：議会改革はどこまでできたか？</p> <p>(2) 市民意見の反映から政策提言の実現まで</p> <p>(3) 人口減少時代における地方議会の役割</p> <p>◆住民自治を作動させる、ようやく動き出してきた。その住民自治の根幹は議会だ。なぜ議会は万国共通にあるのか？議会は、議決権限が付与されている、合議体、合議形成の場。地域の代表者が発言する公開の場だ。権限があることを自覚してこそ議会改革ができる。</p> <p>◆なぜそれが議決されたかを説明する責任があるのが議会だ。議員間討議も必要だ。</p> <p>◆議会報告会が必要。ただ要望を受けているのではなく出向く大切さ。</p> <p>◆まちづくりにどうかかわっていけるか、主権者教育が必要だ。</p> <p>◆若い世代へのアプローチ。大学などの機関をいかに取り込むか。</p> <p>◆決まったことを報告するばかりではなく、(行政報告会)市民が興</p>	

	<p>味を持つような工夫が必要だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆議会から市民へ近づいていく大切さ。 ◆地域解決型・NPOなどをどう巻き込んでいけるか。 ◆多様な意見を集約するのが議会の役割だ。 ◆自治体は必ず、議会の議決が必要だから、議会として、監視と提言がしっかりできているか。二元代表の基本中の基本。 ◆議会は専門性が必要だから、ボランティアで良いとは思わない。 ◆もっともっと議会の見える化を図るべきだ。
<p>5 成果・市政への反映等</p>	<p>静岡市も議会基本条例が制定されて時間が経っている。議会は変化しているかな？の思いが強い。形骸化しない様に先進事例をよくよく参考にしたいものです。以下事例発表のあった市の紹介。。</p> <p>可児市議会：大学との連携・専門的知見の活用⇒以前我が会派で静岡大学の教授と連携し指導助言を仰いだことがあったが、議員の意識・質の向上に資したと思う。議会事務局の調査法制課の存在意義とも繋がると思っている。一問一答・反問権付与⇒わが議会は、徐々に一問一答の形式での質問者が減っている。折角設けた項目なのに、時間が問題のようだ。検討できないのだろうか？反問権はどうだろうか？より議論が深まるツールにはならないのだろうか？本会議での自由討論⇒実際に見てみたいと思った。議論が深まるなら好ましい方法かと思う。</p> <p>地域課題解決型キャリア教育⇒地域の魅力を感じずに都会へ出て行く若者に地域の課題を解決する場を与え、地域の魅力を発見してもらう。可児高校生議会やNPO縁塾のキャリア教育支援等。このことについてはどこの地域も人口減少問題として大きな課題だが、とてもユニークな取り組みだ。小学生や中学生の議会はよく当方でも開催されるが、社会により近い高校生の議会の開催はあまり聞かない。18歳投票も鑑み、主権者教育。まちづくりなど関わることの大切さと面白さを発見する場の提供が大切だと感じた。尚、わが会派が主催している市民の意見交換会には若者の日を設けて意見を聞いている。これが、議会全体の議会報告会的なものに発展していけたらと思っている。</p> <p>四日市市議会：正に先進事例の最先端？と言える議会。これまでの議会改革の流れが語られたが、わが議会の経過と類似している。予算決算の各常任委員会の設置・正副議長選挙における所信表明に対する質疑が可能な点は異なる点だ。わが議会でも可能なのではないかと実感しているが？また、通年議会の開催や文書質問の導入などは、かなりハードルの高い点もあった。常任委員会・予算決算委員会・広報委員会のインターネット生中継も、わが議会では時間がかかりそうだ。またまた、本会議場への大型スクリーンと採決システムの導入、ペーパーレス化のタブレット導入はもっと時間がかかることかもしれない。が、議会改革を本気でやり始めたらそう難しい事でもないのかもしれない。時代の流れに沿っての改革、追従ではない静岡議会を！拓く時なのではないかと思う</p>

